

第3回 滋賀県新しいエネルギー社会づくりを考える懇話会
(第5回 しがスマートエネルギー推進会議 合同会議)

《結果概要》

1. 開催概要

- 日 時： 平成28年1月14日(木) 14:00～15:40
- 場 所： 滋賀県庁 新館7階大会議室
- 出席者：
[懇話会] 槌屋座長、伊原委員、大和田委員、安田委員、横山委員
[スマエネ会議] 商工会連合会(甲西陸運)、中小企業団体中央会(滋賀特機)、経済産業協会(いぶきグリーンエナジー)、産業支援プラザ、関西電力、大阪ガス、地球温暖化防止活動推進センター、JA滋賀中央会、林業協会、近畿経済産業局
[滋賀県] 三日月知事、宮川知事公室長、中山管理監ほか

2. 議事

- (1)「しがエネルギービジョン」(案)について
- (2)その他

3. 主な意見 (文責：滋賀県エネルギー政策課)

(総論)

- 非常に滋賀県らしいし、このビジョンは日本全体にも通じるもの。他県でも同様の取組をするきっかけになればと思う。
- 「原発に依存しない新しいエネルギー社会」の構築は非常に重要であり、県民への啓発活動についてはグループとして組織を挙げて協力したい。
- 全体を網羅されている中で、集中特化する部分とか、メリハリをつけてプロジェクトを進めていただければありがたい。
- 目標の実現のためには、ビジョン策定後のモニタリングが重要である。

(省エネ・見える化)

- 各地域がどれだけエネルギーを消費しているのか、数値的に分かるデータがあれば、県民の取組も活性化するのではないか。
- 省エネにおいては「見える化」が重要。エネルギー分布を把握した上で取り組むと効果的だと思うので、そうした支援も視野に入れていただきたい。
- 県の補助により省エネ診断を実施しているが、より多くの中小企業に利用いただけるよう、使いやすい制度にしていいただけるとありがたい。

(市民の視点)

- 滋賀は市民力が高い地域だと思うので、地域でエネルギー自給するという視点、市民の視点をもう少し色濃く出せないものか。

(エネルギー教育)

- 環境教育では、「うみのこ」に対して「やまのこ」もあるので、「エネルギー教育」の項目の中に盛り込んでいただきたい。
- 電力自由化の流れの中で、今までと違った形で県民も自分たちでエネルギーを選べる時代になる。未来に対してどんなエネルギーがいいのかを認識してエネルギーを自分たちが選択したり創っていく意識を持つ必要がある。そのような能力を養うために、教育や普及啓発は重要である。

(スマートコミュニティ)

- 県内の市庁舎の建て替えもこれから増えていくので、プロジェクトの目玉になり得る。防災面で重要な拠点になるので、平常時の環境性アップと非常時のレジリエンス強化が大きな進むべき方向性の一つかと思う。
- 発電や熱利用で目標値があるが、スマートコミュニティや産業振興といった面での目標も検討されてはどうか。

(産業振興・技術開発)

- エネルギー・環境の問題はグローバルな課題であり、ローカルイノベーションをグローバルイノベーションに繋げていくことが大事である。
- エネルギー政策をする中で、車の両輪のようにビジネスチャンスがある。地域の中で影響力の大きい中核企業を応援していきたいので、そのような企業を掘り起こしていただければ。

(その他)

- 民間設置による産業用施設の製造プロセスを対象とした下水熱利用の実現を目指していきたい。
- 小水力発電について、自治体や事業者等からの有望地点に関する情報収集を行い、有望地点があれば開発の計画・設計等の技術検討を行うことで、新規開発の早期実現を目指していきたい。
- 太陽光（非住宅）の相談が極端に減ってきている。制度改定の影響かと捉えているが、一方で高い目標を掲げる以上は、金融面でも出来る限り積極的な取組をしていきたい。

以 上